

# 共産含め候補一本化

## 参院選 連合・立憲が確認

立憲民主党の泉健太代表は25日、連合の芳野友子会長と面会し、夏の参院選の1人区では、共産党を含めた野党候補の一本化をはかる方針を確認した。終了後、泉氏は芳野氏と共同記者会見し、「連合と一致したのは『候補者調整』というキーワードであり、方向性だ」と語った。

「野党共闘」をめぐっては、連合が参院選基本方針に「目的や基本政策が大きく異なる政党と連携・協力する候補者は推薦しない」

と盛り込んだことが、選挙態勢をつくる上でネックになっていた。

この日の会談で、連合側は「目的や基本政策が大きく異なる政党」とは、共産と日本維新の会を念頭にしていると説明。その上で野党候補の競合を避ける候補者調整については「政党が行うもので、この党と調整を行ってはいけない」というものではない（泉氏）と確認をしたという。

定的な閣外からの協力」のような表立った合意の形を取らなければ、地域ごとに野党共闘が進む可能性が出てきた。

一方で、国民民主党が政府の新年度当初予算案に賛成したことについて、芳野氏は「賛成に理解を示したわけではなく、賛成する」という考え方を理解している段階」と前日の発言を修正した。芳野氏は、国民民主の対応についても「立憲に事前に説明が無かったことは残念だ」と語った。

(神沢和敬、藤崎麻里)